

# 会報 あがた

松本県ヶ丘高等学校東京同窓会

発行所  
松本県ヶ丘高等学校東京同窓会  
〒100 東京都千代田区  
大手町2-6-2日本ビル6F  
TEL 03-3279-2771 (代)  
発行人 森山修二

## 連帯と協調の輪を強めて



東京同窓会会長  
大澤清重(中13)

昨年一月の阪神地区大震災に続くサリン事件、そして経済的には円高不況等と暗く厳しい一年でしたが、東京同窓会はお陰で平穩に推移し、本年は早くも二九回総会を迎えました。本年は第十八回生の皆さんにより、盛大に定期総会を開催でき、心から感謝を申し上げます。

この総会幹事の輪審制も定着して参りましたが、若い同窓生の中には、大変であるとの意見もあるようです。しかし、若い世代の皆さんによる新しい企画力とバイタリティは、本会に新風を吹き込み活性化にもつながるものと期待しています。

本年度は、首都圏内に4千名を数える県外を発掘し、組織の拡大強化を図るため、是非、懸案である名簿の作成を実現致したく存じます。各回期生毎のご協力をお願いする次第です。さらに、財源の問題については、本部の赤羽会長とも話し合い、本会への助成についての基本的方針をつめて参りたいと思いま

す。しかし、本部も最近、収入の減少をみせており、年間事業費も一千万円から八百万円位に修正せざるを得ない現状です。このため、本会自らも財源を求めねばならない訳で、機会があるたびに会員皆様にご理解をお願いしている次第です。各位の力を結集して、さらに、本会の発展を期して参りたく思いますので、何卒ご協力とご支援を賜りたく、お願いを申し上げます。

さて、第二代会長として本会の財政基盤の確立、総会の毎年開催への道筋をつけられるなど、本会発展に多大な貢献をされた根本静夫名誉会長は、四月二十八日心不全で他界されました。謹んで根本前会長のご冥福をお祈り申し上げます。

明るいニュースとして、去る三月には故郷松本市の市長選挙があり、本部同窓会副会長の有賀正氏がみごとに再選を果たされました。有賀市長におかれましては、今後ともご健勝で松本市政のさらなる発展のため、ご活躍ありますようお願いいたします。

また、長野県高等学校同窓会連合会も創立三十周年を迎え、

昨年七月に盛大な記念式典が挙行されました。小沢会長様はじめ役員皆様のご努力に対し、感謝を申し上げます。終りに、同郷の在京人が親睦を深め、連帯と協調の輪を強めて、社会・経済発展のために活躍されとともに、本会伸展のためご協力をお願いいたします。

## 根本静夫氏逝去



名誉会長  
根本静夫氏逝去

第一代会長として、去る三月には故郷松本市の市長選挙があり、本部同窓会副会長の有賀正氏がみごとに再選を果たされました。有賀市長におかれましては、今後ともご健勝で松本市政のさらなる発展のため、ご活躍ありますようお願いいたします。

また、長野県高等学校同窓会連合会も創立三十周年を迎え、

### 東京同窓会第29回総会

|              |   |
|--------------|---|
| 第29回東京同窓会式次第 |   |
| 第一部 総会       | 総合司会 足立寿寿夫  |
| 一、開会の辞       | 副幹事長 栗山英毅   |
| 二、物故者に対して黙祷  | 三、会長挨拶 大澤清重   |
| 四、議事         | 1 議員団選出<br>2 会務報告<br>3 幹事長 森山修二<br>4 会計報告<br>5 副幹事長 濱一昌<br>6 会計監査報告<br>7 役員承認 花岡俊<br>8 常任監事 奥原輝男<br>9 感謝状授与 林悌男様<br>10 その他<br>11 閉会の辞 桐原俊文 以上 |
| 第二部 親睦会      | 一、「校歌」斉唱<br>二、開宴の辞<br>三、実行委員長 三澤政典<br>四、来賓ご紹介<br>五、乾杯<br>六、祝電披露<br>七、祝宴・親睦会・イベント<br>八、「信濃の国」斉唱<br>九、万歳三唱<br>十、次回実行委員紹介<br>十一、閉会の辞 以上          |

# かのヒマラヤ杉に憶う

松本県ヶ丘高校同窓会長 赤羽 富男(中14)

第二九回東京同窓会の開催おめでとうございませう。本同窓会にお寄せいただいた皆様からのご鞭撻、ご支援に対しまして心から御礼申し上げます。



大野前会長任期中途で幽明境を異にされ、河西会長代行体調を崩され、ただ年長の故をもつて重責を担う身となりました。不肖ながら先輩各位の敷かれた輝かしい軌道から外れないよう努めてまいりたいと思います。

次と同窓会、母校との近況を列挙して、松本の動静をお知らせいたします。

(一) 大学奨学生は、平成七年度は十名に貸与いたしました。今年度は継続五名、新規三名に貸与が予定されております。

(二) 支部活動の強化もようやく浸透し、二月中だけで七支部の総会が持たれました。どの会場も意気軒昂、同窓会地盤のゆるぎなさを肌で受けとめてまいりました。

(三) 三月八日には第四八回卒業式が行われ、三六一名が胸を張って巣立つていきまして、進路等は次期会報をご覧ください。

(四) 三月十七日の松本市長選は、有賀正氏が圧倒的な勝利で二期目を迎え、一期の実績を基盤に、「毎日が新鮮、毎日がいちあわせ」な市民生活の実現に積極的に取り組んでおります。

(五) 四月四日には、三二五名の新入生がまだ残る童顔を紅潮させて、昇陵生の仲間入りをいたしました。いま厳しい応援練習の洗礼を受けつつあるところです。それにしても、一学級減は痛手です。

(六) 十八回を数える「母校愛のリレー」は、三日遅れの四月二十日の開校記念式典に併せて行い、代表より記念品として多額の教育助成資金が母校に贈呈され、記念講演には同期生代表の渡辺啓一村井病院院長が、オウ

△真理教を例示して、「破壊的カルトにマインドコントロールされないように」と題して話され、関係者一千余名の聴衆に誘惑への防止を呼びかけました。

さて、わが同窓会もこの三月末をもって、卒業生総数二〇、九七〇名と、待望の二万の大台に乗りました。開校以来満七三年の歴史は、玄関前のヒマラヤ杉の大樹がそれを象徴しています。思い出の建物すべてが面目を一新した現在、開校以来の県ヶ丘の成長を見守り続けて来た唯一の存在は、あの六本の大木です。まだ幼な木の頃、初代小松校長と共に歩み、苦楽を共にしたであろうことに思いを至す時、言うなれば小松校長をも象徴するものであり、また三大精神の

権化として、枝葉をゆるがす風声は一つのささやきと化して、わが県ヶ丘の来し方、行く末を今日もまた生徒諸君に語りかけているに違いないと、私なりに頑なに信じております。

上に伸びることはかり欲するな、根を養え、しっかりと大地深く根を張れば自ずと枝葉は繁り、幹は太く逞しくなるものだと、生徒への自覚を呼びかけているとも受け取れます。静夜耳を澄ませば、そのささやきをも聞き取ることが出来るかも知れません。同窓会また然り。皆さんが日々張りめぐらす逞ましい根は、必ずや亭々たる大樹に育てあげてくれることを確信しております。

東京同窓会の益々のご発展を遥かに祈念申し上げます。

(八・四・二七)



弁護士  
樋口 和博  
(中学1回卒)

事務所 〒102東京都千代田区九段北4-1-5  
市ヶ谷法曹ビル203号室  
TEL.03-3230-4005  
自宅 〒157東京都世田谷区喜多見町5-21-15  
TEL.03-3416-2904

輸出入・国内販売  
鉄鉱石・石炭・鉄鋼原料全般・鉄鋼製品  
各種産業機械・石油製品・化学工業製品  
東南貿易株式会社  
代表取締役社長 根本英一

本社 東京都千代田区大手町2-6-2日本ビル6F  
TEL.(03)3279-2771~8 〒100  
出張所(君津・名古屋・広畑・八幡・大分・大阪  
船油所) 大分  
駐在員事務所) シンガポール・マレーシア・インド  
ゴア・台北

国際ラ・テ製作株式会社  
代表取締役 大澤 清重  
会長 (中学13回卒)  
(株)エフエム東京取締役  
(財)蓮根文化会館理事長  
〒174東京都板橋区蓮根2-13-9  
電話03-3966-5481

# 阪神大震災から一年余

同窓会関西支部長

石川元也 (中21)

昨年の会報に続いて、大震災のその後を報告させていただきます。

まず、私の住む宝塚だが、活断層の真上だった。死者一三人、家屋の倒壊も多かった。が、報道は、宝塚歌劇大劇場の被



災や花の道の商店街の壊滅にかたよっていた。

いま被災地を歩くと、耐震設計の新築ぶりが目につくが、それも持ち家の三割ぐらいか、まだまだ解体あとの空地がひろがっている。

幸い、同窓の先輩の方々は、被害から立ち直られお元気にしておられる。芦屋の森山さん(中十二)は家財全損を修復

され、西宮の塩原さん(中十八)は、解体あとに新築竣工された。

阪神間全体での復興は、なかなか進んでいない。遠くに避難された被災者が元へ戻ってこれないからだ。何といっても、住宅再建、営業再開の資金のメドがつかない。

全国からの犠援金一七〇〇億の半分以上が未配分だった。ようやく再開の配分も被災遺児対策とか特定目的で、多くの生活再建にはほど遠い実情だ。

震災一周年を契機に、「生活再建のための公的援助を」のアピール運動が、県医師会長、元日弁連会長、そして地元新聞、放送社長らから提唱され、賛同署名も大きくひろがっているが、政府は動きそうにない。「住専より被災者救援を」という大きな世論にもかかわらず

実は、私たち弁護士も、

この世論形成にいささかかわって来た。昨年八月、一〇日間にわたって、ロサンゼルス、サンフランシスコ大地震に対するアメリカ連邦政府の民生保護の実態をみてきて、調査報告書にまとめたのである。

「災害によって都市機能のみでなく、住民の生活や事業の基盤も同じように破壊される。自助努力の土台が破壊されたときには、その土台が回復されなければ、国の危機は去らない。だから政府援助が必要だ」というのが、連邦危機管理庁(FEMA)の担当者の説明だった。

ロス地震では、発生後四八時間以内に、災害申請センターが一一か所、さらに二一カ所設置され、五〇〇〇人の連邦スタッフがはりついていた。一カ月以内に、最高二万二千ドルの政府援助金が小切手で直接手渡されたという。「犠援金は赤十字がわかる。政府が手をつける

ものじゃない。」と笑っていた。

個人主義の国、自助努力の国アメリカでこうである。

天災だから一切の補償はできないというこの国と落差を感じずにはいられなかった。

震災復興は、息の長い課題である。

東京の皆さんも、ご自分のこととして関心をもっていてほしい。

最後に、樋口和博名誉会長の奥様のご逝去(昨年一〇月)に、謹んで哀悼の意を表させていただきます。永年つれそわれた令夫人に先立たれた樋口さんの深い悲しみにふれ、八六歳のご高齢の身であられるだけに、どうぞどうぞお元気にと祈らずにはおられません。

二九回総会の盛会を祈りつつ、今年の欠席をお詫び申し上げます。(九六年四月一八日記す)

松本市長

有賀正  
(高校2回卒)

〒390 松本市丸の内3-7  
TEL.0263-34-3000 (代)

祝第29回東京同窓会

長野県松本県ヶ丘高等学校東京同窓会

幹事長 森山修二  
(高校1回卒)

株式会社オギタツ 取締役  
福祉法人老人ホーム 監事

弁護士

石川元也  
(中学21回卒)

石川元也法律事務所

事務所 〒530大阪市北区西天満6-9-13西天満クエストビル  
phone.06-362-2701 fax.06-362-2702  
自宅 〒663宝塚市御殿山2-31-51-101  
phone.fax.0797-85-0813



松本市長 有賀 正(高2)

風薫る新緑の季節に、長野県松本県ヶ丘高校第二十九回東京同窓会の開催と会報の発行を、心からお慶び申し上げます。

また、同窓会の開催と会報の発行に、一方ならぬ、ご尽力をいただいた高校第十八回卒業生の皆様に、ご慰労と感謝を申し上げます。

さて、私は、過ぐる三月十七日に行われました松本市長選挙におきまして、市民各層の圧倒的支持をいただき、再び、市長の重責と栄誉を担うことになりました。

私は、県陵出身初の市長として、市長就任以来、市民本位の市政を実現するために、市民との対話に努めてまいりました。そうした対話の中から、市民の真実の声を聞き、「制度が悪け

れば変えればいい。環境が悪ければ、改善すればいい。夢がもてないならそれをつくり出せばいい。そして、それらが実現したときの喜びを共に経験すればいい。」そんな思いで毎日を通してまいりました。

そうした中で、取り組んで参りました変革、改革の過程で、松本在任はもちろん、東京同窓会を始めとした、全国の県陵同窓生のご支援、ご協力が大きかったことは、言うまでも



あり  
ません。

二期目にあたり、私は、「毎日が新鮮、毎日があわせ、そんな都市(まち)松本」の実現をかかげて、当選をはたし、中南信の中核都市としての都市機能の整備、福祉日本一をめざして、市政に取り組んでいるところでございます。

今年、昨年策定いたしました、第六次基本計画の初年度にあたり、松本市政始まって以来

の総額四百億円の巨費を投じる新焼却プラントの建設に、着手したのを始め、多くの新規事業に着手したのでございます。

もとより、こうした事業の財源となるのは、市民の皆様のお金であります。とりわけ、景気回復の遅れから、地方財政も大変苦しい状況にあり、こうした事業の推進には、企業感覚の導入、行政改革の推進による、スリムな行政運営が求められております。

私は、市長就任当初から、国県に先駆けて、行政改革に取り組み、市民から高い評価を得ているところでございます。

市政の動きにつきまして、は、多々あるのですが、その中から、全国の県陵同窓生への朗報をお届けしたいと思っております。

それは、この七月、松本空港から仙台便と関西国際空港への乗り入れが実現するというニュースです。空路の拡大は、私が重点を置いてきた事業のひとつで、大阪、福岡、札幌便に加え、広島便、そして今回の仙台便、関空乗り入れの実現を見たので

ございます。

これは、松本地域の経済、文化の発展に貢献することはもちろん、全国においでの方の郷土出身者と故郷を結ぶ足ともなるのでございます。そしてこのことにより、松本は、全国の主要都市、全ての政令指定都市と三時間以内で結ばれ、かつ世界への窓を持つ、屈指の地方都市となったのでございます。

私も、皆様のご期待に応えるよう、全力で市政に取り組んでおります。東京同窓生の皆様も、ますますご健勝で、また、故郷へのご意見、ご提言をお寄せいただくことをお願いして、ご挨拶いたします。



21世紀を見つめて新しい生活づくり

街づくりに挑戦しております。



東京サンロク会幹事

都市空間のパイオニア エム・ケー株式会社

東京都日野市高幡15-2 TEL.0425-94-1771

代表取締役 小林 勁 (高校13回卒)

A組担任 吉澤 順

近頃の、元も子も無くなるような世相の中に、老残の身は生きています。諸君と別れてもう三十年余です。思えばわが人生の最後の最良の時を諸君に頂きました。その後は混乱と苦渋の時代となりました。諸君の時代迄は各家庭に戦争の影が尾を引いていました。日常に貧乏の影がありました。だから古今を問はず東西に通ずる心で話し合えました。今は自意識過剰の自己喪失の時代です。未来への希望を繋ぐ頼りの世代の諸君です。諸君の御健勝と御活躍を心からお祈りし、御期待申し上げます。

お祈りし、御期待申し上げます。  
〈住所〉松本市島立堀米新田  
七八五番地(〒三九〇)

D組担任 古畑 喜平

ご卒業三十周年を迎えられ、おめでとうございます。故郷を離れて頑張っておいでで、大変嬉しく思います。

皆さんの高校三年間担任でした。厳しい競争に打ち勝って就職が決まった皆で、塩尻にぶどう狩りに出かけ、喜びと共に緊張をほぐすひとときを持ったように記憶します。

張をほぐすひとときを持ったように記憶します。

思えば皆さんは戦後のベビーブーム期の生まれで、団塊の世代などと呼ばれています。ご苦労が多かったことでしょう。これからはご健康に留意され一層ご活躍ください。

〈住所〉松本市蟻ヶ崎三丁目  
一番十号(〒三九〇)

あのころ…担任の先生は

E組担任 若月 秀雄

人類の歴史は無数の人々が種々の時代に生き、また、種々の地域に生きて、築きあげてきたものである。言い換えれば、人間誰しもが、ローマ時代・江戸時代等各種時代に生きようと、アメリカ・アメリカ等各種地域に生まれようと、不思議ではないのである。それを偶然的支配と言うもまたよからう。しかし、

H組担任 宮城 文治

「人間の出逢い」はそれが同じ時代に、同じ地域に、同じ関係を持った人達の集まりと、考える時、何か前世からの必然、そして神の摂理を感じないだろうか。三十年前ここ果敢の地に集まり散じた仲間をお互い大事にしたいものである。

〈住所〉長野市安茂里  
二四二〇一五(〒三八〇)



I組担任 勝野 壽雄

諸君と初めてまみえた時は、まだ二十代に漸く決別を告げようとする頃で、諸君には自分がさぞかし頼りない存在だったに違いないと、思い起こす度に冷汗を禁じ得ません。ただ、全力投球でやっていたのは確かです。爾来三十有余年、諸君は今や各界の指導の立場で活躍されており、そのキャリア、識見その他どこから見ても、我々を凌駕しておられることは明らかです。この度の母校への多いなるご貢献を契機に、同期の結束を益々固められ、その集まりも毎年継続して行かれるよう願っています。

〈住所〉松本市元町一―三二三  
(〒三九〇)



皆さん今日は、三十年ぶりのご挨拶、懐かしく思います。私は、十五回生と十八回生の担任としてご縁がありました。特に十八回生の皆さんとは三年だけの担任。しかし荒井基一君から渡辺啓一君まで三十九名、うち紅二美子さんの落ち着いた雰囲気に囲まれたの生活が、強い印象として残っています。クラブはラグビー部顧問で、血の気の多い生徒に代わって私が校長室に呼び出されては注意を受け、部の存続をかけて主張

〈住所〉松本市大字島立  
二〇五一(〒三九〇)

山岸光臣法律事務所

弁護士 山岸 光臣  
(高校3回卒)

〒101東京都千代田区神田佐久間町1-14  
第2東ビル8F 801号室  
電話03-3255-2700  
FAX.03-3255-2709

出光興産特約販売店 信光石油株式会社

取締役社長 夔 奉邦  
(高校16回卒)

前・松本県ヶ丘高校PTA会長  
〒390松本市深志2丁目2番9号  
電話(0263)35-2525(代) FAX.(0263)36-7448  
営業所 島内・塩尻・大町・白馬

株式会社 県設計

代表取締役 櫻井 俊夫  
(高校16回卒)

取締役 大槻一賀(高15回卒)  
取締役 小笠原光彦(高15回卒)  
設計部 二村 優(高28回卒)  
営業部 寺次 豊(高29回卒)  
〒390 長野県松本市埋植1-1-6  
TEL.0263-36-5537

# 県陵ネットワークに思う

第29回東京同窓会実行委員長 三澤政興(第18回卒)

四月二十日、松本県ヶ丘高校開校記念日式典に出席する為、朝四時起きで松本に向かった。四月とは思えぬ小雪交じりの雨の中、三十年ぶりに母校の正門をくぐると小松先生の石碑が懐かしかった。講堂には自由な服装の在校生の中に女子生徒の姿が多く見られ、三十年前とは大きな変わり方である。みんな我々の子供の年代であり、同期の仲間の子供さんが何人もおられた。記念式典の進む中で、中学一回生から七十余年間、県陵同窓会の脈々と続いている原点に触れた思いがし感無量であった。と同時に県陵の三大精神「質実剛健であれ、大道を闊歩せよ、弱音を吐くな」は、世代を越えた県陵のバックボーンであることを再認識した。

今年で第二九回目を迎える県陵東京同窓会の総会および懇親会には例年関東一円に在住し、住所がわかる約三千名の同窓生の内二〇〇名程が出席している。まさに「継続は力なり」であり、

諸先輩方々の並々ならぬご尽力に感謝する次第です。しかし、時代の進歩と社会構造の変化の中で、同窓会に対する意見も多様化している。単に懐かしさだけでなく、もっと仕事の上でも、また社会生活の上でも交流できるものを求めている。先輩―後輩という世代の違いを越えて、それぞれの職業や特技、趣味等を活かしあえる情報交換の場、言わば「県陵ネットワーク」もその一つである。そして毎年の同窓会はその場所を提供して、いったらどうか。その源となるのは横の同期会と縦の同窓会であり、昨年から発足した五年委員会は四十代、三十代、二十代の若い人達の参加を積極的に進めていこうとするもので、同窓会の本来の趣旨からすれば当然のことと言える。また、先輩―後輩という世代の違いの情報ギャップを少しでも縮めることも必要であり、今年はその試みとして当日の出席者に限定した出席者の出身地や、在学中の所属

クラブ、趣味、特技をアンケートいただき出席者名簿を作成した。世代を越えてお互い声を掛け合って楽しい一時を有意義に過ごしていただきたい。また、来年は更に多くの同窓生が「県陵ネットワーク」にアクセスしてくれることを期待したい。

## 第29回東京同窓会 実行委員会委員

- ◇実行委員長 三澤 政興
- ◇副実行委員長 市川 惺
- ◇クラス委員
  - A組：船越 秀子
  - B組：上條 哲郎
  - C組：塚原 哲夫
  - D組：長崎 浩光
  - E組：久保田昇子
  - F組：山口 真介
  - G組：吉村 明
  - H組：岩瀬 光一
  - I組：滝沢 博
  - J組：石和 一利

- K組：金井 清隆
- ◇総会運営委員
  - 会場設営担当…石和一利・足立寿喜夫
  - イベント担当…瀬川辨・滝沢博・矢萩健次・塚原哲夫
  - 動員担当…滝沢博・佐野耕一・久保田昇子・船越秀子・金井清隆・吉村明
  - 受付担当…渡辺晴司・岩瀬光一・松本次男・船越秀子・池田一子・若林恭子

- 会報編集担当…荻須隆雄・久保田昇子・新津毅・前田稔・宮下今朝道・市川富康・山岸敬三・五十嵐千秋
  - 来賓企画担当…市川惺・長崎裕光・石和一利
  - 総司会担当…足立寿喜夫
  - 通信連絡担当…三澤政興・市川惺・石和一利
  - 会計担当…上條哲郎・新津毅・山口真介
- <第18回卒(昭和41年3月卒)>

ロジリバーサイド

**やまや**  
松本平司  
(高校17回卒)

〒399-92北安曇郡白馬村神城22404-1  
TEL(0261)75-2525

金子公認会計士事務所

渋谷区代々木3丁目35番4号  
TEL.03-3299-3665 FAX.03-3299-3555

金子信吉  
(高校17回卒)

公認会計士・税理士

長銀総合研コンサルティング株式会社  
経営戦略G シニアコンサルタント

長野県議会議員

本郷一彦  
(高校17回卒)

〒390 松本市開智3-3-12  
TEL.0263-33-0867

# 県ヶ丘高校 73周年

## 卒業生の渡辺啓一さん記念講演



松本市の松本県ヶ丘高校(腰原哲郎校長)は二十日、同校体育館で創立七十三周年の記念式典を開いた。式では昭和四十一年(第十八期)卒業生が、卒業三十周年を記念して講演会を開き、会場を埋めた生徒や教諭約千人とともに創立記念を祝った。

同校は、大正十二年四月に松本第二中学校として創立。昭和二十三年、松本県ヶ丘となった。翌二十四年に同校を卒業した高校第一期生が、五十四年に三十年記念事業を初めて実施。この伝統がその後も「母校愛のりレー」として受け継がれ、今日に至っている。

昭和四十一年卒業生の一人で、

村井病院長の渡辺啓一さん(四八)は、「破壊のカルトにマインドコントロールされないように」と題して講演。阪神大震災時に自分の仕事、勉学を投げ出して支援に向かった若者と、一連のオウム事件にかかわった若者を例に挙げ、「オウム教団というカルト教団に入らねば、ともに純粹で誠実な人だろう」と指摘。「病氣や見知らぬ土地に行ったときなど、心理的に不安定な時期には誘いに乗りやすく、注意すべき」と生徒に呼び掛けていた。

(松本四月二十一日日市民タイムス)



### A組

太田 篤実

**県** 隣時代は軟式テニス、大時代はボウリング、そして今は下手なゴルフに。球をひきずる我が人生。

中野 民二

**夏** の高校野球の時期になると、母校の成績を新聞で探します。一度でいいから、甲子園で校歌を歌いたいものです。

上條 悦夫

**県** ケ丘の思い出は、下駄はきの通学、担任の征矢先生、コンパ等。今はいすゞ自動車に勤務中。毎日、通勤ラッシュの生活です。

上條 哲郎

**高** 校時代、絵の具のついたままのトレーニングウェアを着て、体育の授業に出席し、先生に「汚い」と叱られた

## ネットワーク

### あのころ・あれから・いま

松越 秀子

**四** 季の美しいアルプス山脈を見ながら通学出来た私達は、我が子のラッシュ通学に比べて、幸せな青春時代でした。

ことを思い出します。

前田 稔

**学** 生時代は、正解のある問題を解くために勉強したが、会社では正解がない問題ばかりを解かねばならない。

### B組

荻須 隆雄

**公** 然と眩い乙女の／手や肩に／触れるチャンスよ／県陵祭は…と担任の助言有り。けれどもその機会をつくれぬままの三年間。

宮下今朝道

**東** 京に来て、早や二五年、県陵祭やA高校などでのフォークダンスを思い出しつつ、野菜菜で白馬錦でも飲んで頑張りますか。

懐かしいお顔ぶれがいらっしゃる「雅」で、ふるさとの言葉でふるさとの味をお楽しみくださいませ。

料理 雅 まや、 杉山雅子 (蠟ヶ崎高出身)

東京都新宿区西新宿1-15-10更科ビル3階 電話03-3348-6677

税理士 飯沼英男 (高校19回卒)

飯沼税務会計事務所 (株)ハイファンドクロス:代表取締役

TEL.03-3269-8249 FAX.03-3269-8289 〒162東京都新宿区神楽坂6-66三上ビル5F

### 割

山岸 敏三  
 れた下駄、ハリガネで  
 しばってまだ使い、二  
 ○○円月給高くて選んだ現会社  
 給料下がるの気がかり、三〇年。

山田 省三

### 30

周年創立式典で在校生  
 や同級生に接し、若き  
 時の日々が、なつかしく思いお  
 こされました。

### C組

池田 一子

### 四

六七名中、三二名の女  
 子生徒。どこを向いて  
 も、真つ黒な学生服。体育の授  
 業だけが伸びのびと出来ました。

## ネットワーク

塚原 哲夫

### 学

校へは、よくゲタを鳴  
 らして通ったことを思  
 い出します。思うに結構、パンカ  
 ラな青春だったなと思えます。

### D組

佐野 耕一

### 渡

辺先生の厳しい指導の  
 もとで、3年間過ごし  
 た県陵サッカー部は、私にとつ  
 て青春であり、誇りでもありま  
 す。

原 啓一郎

### 柔

道場に面して部屋が並  
 び、一番奥が水泳部。  
 教室よりも部室に居る方が多  
 く、早弁当、サボリ・・懐か  
 しい。

藤木 勝

### 黒

板に、やたらと説明を  
 書き、写させる数学教  
 師。私は、これで数学がわから  
 なくなつた。自分の不勉強を棚  
 にあげて。

### E組

五十嵐千秋

### 学

園ソングが流行してい  
 る頃、照れながら踊つ  
 たフォークダンス。修学旅行の  
 思い出がないことが残念です。

### F組

山口 真介

### 地

学部に属し、三年間、  
 大滝山にて気象観測の  
 合宿を行っていました。安曇野  
 の夜景などが懐かしい思い出  
 す。

### G組

奥原 文明

### 今

思い起してみれば、県  
 陵時代の自分は、全て  
 に不完全燃焼だったように想



## あのとき・あれから・いま

う。再度、高校生活に挑戦した  
 い。

倉田たみ子

### 主

人、泉は、平成六年十  
 二月三十日、四六歳で  
 死去いたしました。皆様のご健  
 康をお祈り致します。(倉田泉  
 氏夫人)

### H組

岩瀬 光一

### 生

徒会長として、また応  
 援団の先頭に立って、  
 野球の県予選で強敵松商学園を  
 破つたことが、特に印象に残つ  
 ている。

### I組

新保 秀夫

### 上

京して三十年、結婚  
 子ども三人、忙しい毎  
 日。今でも県陵の校歌が口に出  
 る自分に苦笑する。

瀬川 辨

### 30

一年間の時空を超えて、  
 一瞬にして高校生に戻  
 る。奈良に居る小池、愛知で絵  
 を描いている牧内。是非、再会  
 したい。

宮澤 伸昌

### 皆

さん、お元気ですか。  
 当方、中年オジサンで

頑張っています。皆さんと会話  
 ができる機会を多くつくつて下  
 さい。

### J組

足立寿喜夫

### 東

京で学び、薬師会社に  
 就職。三重、大阪、愛  
 知、京都、埼玉等と転々し現在  
 は東京。妻は沖縄出身、娘は大  
 学生、波田には母一人。

### K組

三澤 政興

### 新

入生歓迎コンパのもと  
 なしは、ネギ、トウガ  
 ラシ入りの最中と何でも入りの

開鍋。それから三十年もてなし  
 は何？

山崎 千里

### 卒

業と同時に松本を離れ、  
 東京を振り出しに転勤  
 ばかりしていますが、数年のう  
 ちには戻りたいと思っていま  
 す。

吉田 知也

### 子

供の教育も後数年。仕  
 事人間から余暇を充実  
 すべく、第二の人生の助走を始  
 めようとしているこの頃です。



代表取締役

小林直毅  
(高校18回卒)

株式会社寺岡オートドア長野

本社  
〒399松本市笹賀2992-1  
TEL.0263-58-0777 (代) FAX.0263-58-0442

Pearl・Colored Stone・Diamond

塚原ジュエリー

塚原哲夫  
(高校18回卒)

南洋珠・色石・ダイヤモンド輸入・卸

〒110 東京都台東区上野5-11-2  
第3オリエントビル3F  
TEL.03-3837-9758 携帯電話030-23-46187  
FAX.03-3837-9725



お菓子と喫茶

okinado 翁堂

松本駅前店 (翁堂喫茶室) 松本市深志1TEL35-0808  
本店 松本市大手4TEL32-0183  
本茶房 松本市大手4TEL33-3322



# 山崎温先生を偲ぶ 横山巖先生

十八期卒業生の担任をしてくださった山崎温先生(C組・英語担当)は、昭和五十一年五月十五日逝去されました。また、横山巖先生(K組・化学担当)は、平成二年六月二十二日に亡られました。

お二人の先生のご冥福をお祈り申し上げます。

◆ ◆ ◆  
山崎先生には、英語を教わりました。いつも穏やかで、怒ったり大声を出したりすることは、ほとんどなかったと記憶しています。郷里で級友たちと先生を囲みながら、思い出を語り合うことを楽しみにしていましたが、残念です。

塚原哲夫

◆ ◆ ◆

先生が他界されたことを知り、感慨無量です。扁桃腺に苦しむ私をいい灸治療があると連れて行って下さったこと、生徒一人ひとりへの気遣い、心遣いが忘れられません。

金井清隆

## 五年委員会

いま・これから

横山 章(高19)

ヨースタイン・ゴンドルというノルウェーの作家のカードミステリーという本の中に「もし天文学者が、生き物のいる惑星をもう一つ見つけられたら、どんなにうろたえるかね。自分たちのことでは驚かないのにね」という部分がある。私達地球人は、当然のように現在の存在を受けとめているが、「本当は、ごくまれな確率で現在の自分がある事」に気づいていないと言っているようです。まず生物がいる惑星が出来る確率、世界の日本人である確率、信州である確率、等々ありますが、最後に県ヶ丘高校の同窓生である確率と計算しますと、ごく希少な出会いなのであります。先輩から後輩へと脈々と受け継がれて行くピュアで剛質なアガタの魂を引き継ぐべく五年委員会、ごく希少な出会いである同窓生の親睦、交遊等の交流を図る「ネットワーク」のフットワークに心がけている所です。



栗山 牧雄(高20)

大阪から転勤して十五年、毎年東京同窓会に出席させて戴いているが、同級生を探しますといつも数人。しかし気象庁のY君のように、翌日を年休にして参加される熱血漢もいる。

やはり団魂の世代は多忙なのだ。皆、活躍しているから出席できないんだと良い方に解釈して、楽しかった高校時代の思い出や将来の夢などを二次会三次会と語り明かすのであるが、人数の少ないのは一寸さびしい。同窓会に出席することが、プライオリティ(優先度)の低いことだと思っているのなら残念。他校の卒業生がうらやむ立派



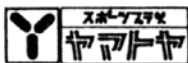
な同窓会を育てていただいた素晴らしい先輩に対し、もっと発展させることが我々の使命であると考える。

同窓会が何もむずかしいものや、功利的なものでなく、自分を支えていく大きな柱になることを同期に十分認識してもらい、本年は我々の団結を示すべく、二十名以上の出席ができるよう今から有志で画策している。

新日本製鉄(株)委託加工・施工店  
建設大臣認定工場  
株式会社高山製作所

代表取締役社長 高山元秀  
(高校18回卒)

〒390-12 松本市大字和田3967-20  
TEL.0263-47-8809  
FAX.0263-47-9809



代表取締役 大和 博  
(高校18回卒)

〒390 松本市大手4-3-14  
TEL.0263-32-3600(代)  
FAX.0263-32-6516

一級建築士事務所  
(有)横内建築設計事務所

代表取締役 横内 節(高校13回卒)  
専務取締役 熊井靖夫(高校18回卒)

〒390 松本市大字島立1814  
TEL.0263-47-5662  
FAX.0263-47-8327

# 庭球部OB会

会長 浅川澄夫 (高10)

庭球部OB会の発足は、昭和

三三年当時、度々学校を訪れて  
コーチをしてくれたOB達が、  
中心となって発足しました。最  
初は、夏休みにOB、現役の対  
抗試合を行ったり、現役選手の  
遠征費用の援助等を目的として  
松本在住のOBが首領をとって  
始められました。定期的にお盆  
の日曜日に集まって学校のコー  
トにて練習試合をし、夜はOB  
経営の松本館にて懇親会を行  
うようになったのは、昭和四十  
年頃からでした。現在名簿には、  
中学七回(昭和九年)卒業生を  
筆頭に三五〇名の多くを数える  
会となりました。軟式庭球は、  
現在ではソフトテニスと呼ばれ  
ルールも多少改められおり、母  
校の庭球部も女子部員が増加し  
ております。最近では大会にお  
いても女子部員の活躍が目立っ  
ており、平成四年にはインター

ハイ本戦にて二回戦進出、同五  
年には三回戦に駒を進めるな  
ど、各大会において好成績を残  
しております。OB会を通じて  
同じテニスを志したも同志、  
年代をこえて縦のつながりを大  
切に今後もより多くの会員を募  
って存続していきたいと願って  
おります。

今年もお盆には第三九回のO  
B会を開催いたしますので、東  
京同窓会のOBの方々も是非帰  
松して参加され、懐かしい思い  
出を語り合ってくださいるようお  
願いたします。

## テニス人生

柳澤圭一 (高16)

東京の公園の一画で週一、テ  
ニスを始めて十数年、今では仕  
事も含めて生活のリズムの主役  
である。「三十?年ぶりです  
ね」との電話をもらい、高校時  
代にタイムスリップし、この原  
稿を書いている。当時、テニス  
コートは運動場の北東に二面、  
すぐ近くに汗臭いなぜか愛着  
のある部屋が有って、三年間の  
活動のすべてがそこに凝縮して  
いた。

夏、合宿所(運動場の北西に

あった)での早朝練習、冬、コ  
ート造りのために松本駅からリ  
ヤカーで運んだコークス炭、小  
松橋までのバツマラソン、マナ  
イタ(十分間一人でボールを追  
う)練習でダウンした後におこ  
ってもらったアイスキャンディ  
の味、学校の帰路立寄ったパン  
ジュリー屋での語らい……。ど  
うしても忘れられないことは、  
サッカーで足を骨折した時の二  
ヶ月間、松葉杖の私を背負った  
り、カバンを持ってくれたりし  
て助けてくれたクラブの面々、  
嬉しかった。

今私は、その時の思い出を大  
切に、妻とテニスをやっってい  
る。フットワークとネットワー  
クでライフワークを楽しみなが  
ら……。

## 我が県陵軟式庭球部

川上統啓 (高42)

同窓会報への寄稿の依頼を頂  
いて、改めて高校時代のことを  
考えてみると、様々なことが思  
い浮かんでくる。友人から誘わ  
れて入部した軟式庭球部であっ  
たが、これが間違いの始まりで  
あった。私達の世代は八人の部  
員がいたが、経験者は二人の

み、よってこの二人に師事しな  
がらの部活動となった。

軟式庭球部同窓会は、発足以  
来、毎年定期的開催されてい  
る。OB、OGの中には、イン  
ターハイ、国体出場経験者も多  
く、上位成績を記録しているメ  
ンバーも少なくない。

このように思い返してみる  
と、楽しいことばかりが浮かん  
でくる。素晴らしい時を共に過  
ごした仲間感謝しつつ、筆を  
置く。

一級建築士事務所

(有)滝沢設計室

滝沢正則  
(高校18回卒)

〒170東京都豊島区東池袋1-31-10-1201  
TEL.03-3989-1015 FAX.03-3989-1660

NTTテレコール信州(株)

松本支店

支店長 中田公久  
(高校18回卒)

〒390 松本市中央2-3-5  
TEL.0263-34-6655  
FAX.0263-34-6666



ふり はた けん じ  
常務取締役 降旗憲治  
(高校18回卒)

日産プリンス松本販売株式会社

本社 松本市鎌田1-16-1 〒390  
TEL.0263-25-2099 (代)  
☎0120-119823

### 第35回アルペン杯争奪 ゴルフコンペ成績

第三五回アルペン杯争奪ゴルフコンペを四月十一日(木)、雨天の中、西武園ゴルフ場で開催しました。三十余名の東京同窓会会員が参加して行われ、中沢郡司氏(高5回)がグロス七七、ネット六六・五で優勝。準優勝は花村俊氏(高校7回)でグロス八二、ネット七十・四の成績でした。



### 次回(案内)

次回(三六回)は、今秋十一月十四日(木)、同じ西武園ゴルフ場で開催の予定です。参加希望の会期幹事の方々は、左記まで早めにご連絡下さい。

◎東京二(会)(高8)

幹事 濱 一昌

電話03・五三九七・七七五七

### 県陵を卒業して

本山希美(高45)

県陵を卒業してから、3年が経ち、あれから一度も学校へ行っておらず、先生方にも、クラスの友達だった人たちにも会っていませんが高校3年間のことは、今でもつい昨日のこのように思い出し、大変なつかしい気がします。今頃、新入生たちは、応援練習に必死なので、もうすぐ、県陵祭だから、そろそろ準備が始まっているかな、あがたの森の桜もきれいな、など、色々なことを思います。

これから先、それぞれ会う機会はあるけれども、皆で集まる機会には作らないとできない。そんな時、同期だけでなく、先輩、後輩も一緒に再会できたら素晴らしいことだと思います。

同じキャンパスには、毎年、県陵の後輩が二、三人入学してきています。ゼミ担当の教授も県陵の先輩と知りました。大学にも県陵同窓会ができれば不慣れた大会での学生生活もなにかと強いだろうと思います。

〈玉川大学文学部四年〉

### 高野辰之と信時潔

「若き我等」の作詞・作曲家

明治九年、農業高野仲右衛門の子として生まれた高野辰之(号「斑山」)

は、信州出身の著名な芸術家・演劇学者・国文学者(文学博士)の一人に挙げられています(昭和二年没)。

長野師範を卒業後、文部省を経て、東京音楽学校(現東京芸術大学音楽学部の前身)教授、後に大正大学教授。代表的著書に「日本歌謡史」「日本演劇史」があり、昭和三年学士院賞を受賞している。これだけの紹介であれば、作詞者高野は多くの会員読者にとって、同県人の一人の芸術家、学者にすぎないことでしょう。

しろじにあかく／ひのまるそめて・・・春の小川は／さらさらいくよ・・・秋の夕日に／照る山もみじ・・・そして／兎追いし／かの山／小鮒釣りし／かの山・・・などの歌を知らない人はいないでしょう。文部省唱歌として小学校の音楽の共通教材として取りあげられている「日のまる」「春の小川」

「もみじ」「ふるさと」や「おぼろ月夜」など、数多くの名曲の作詞者が高野辰之です。

mf 作曲者の信時潔(ノブトキ・キヨシ)は、明治二〇年大阪に生まれ、少年期を関西で過ごし、東京音楽学校本科・研究科で学んだ後、大正九年にドイツに留学して作曲を学ぶ。帰国後は母校の教授として、多くの有能な人材を育てました。

教授の職を離れてからは、作曲に専念し、堅実な作風による歌曲と合唱曲を多数発表し、代表作にはカンタータ「海道東征」、合唱曲「日本古謡」、歌曲「沙羅(さら)」などがあり、文化功労者に選ばれている大正・昭和期を代表する作曲家です。

(編集担当 荻須隆雄記)



**ASUPIA**  
代表取締役社長  
**百瀬方康**  
(高校22回卒)  
総合建設業 株式会社 **松本岡谷組**  
本社：長野県松本市富田1-3-30 〒390  
TEL.0263-32-8805 FAX0263-35-1618

**株式会社 徳永設備**  
専務取締役  
**徳永信三**  
(高校18回卒)  
〒390 松本市北深志1丁目9番5号  
TEL.0263-32-5403(代)  
FAX.0263-34-2489

**三井ホーム** 長野中央ホーム株式会社  
代表取締役 **菊池宏一郎**  
(高校22回卒)  
本社 松本市笹部1丁目3番6号 〒390  
TEL0263-25-0031 FAX0263-25-5400

去る四月二十日(土)に、県陵の体育館において、卒業三十年になる第十八回生による講演会が行われた。この日の松本はとて寒く、校庭の桜の蕾もまだ固くて咲くに咲けないという状態だった。三十年ぶりに訪れた母校は、あのなじみの深い、グレーのコンクリートの建物でも、桜の花びらが舞い込んできた木造校舎でもなく、昭和六三年十月に新しく建てられた校舎だった。職員室や待ち合い室になった部屋になった部屋の戸が木で

# 我が青春の学生時代と今

久保田昇子(高18)

できていて、とても落ち着いた雰囲気をかもし出していたのが印象的だった。講演会の行われた体育館は、三十年前と変わらず昔のままだった。確かこの体育館は、私達が一年の時に新築されたもので、授業の始めと終りに皆が一列に並んで、雑巾がけをしたことを覚えてる。体育館の最後列に座って講演を聞きながら、あまりの変化に驚かされた。私達が在校していた頃は、一クラスに女子が二三人だった。入学式の日、まっ黒な林(男子は黒の学生服で背

室もいくつもできていて、部室独特の雑然としたきたなさは、今も昔も変わっていない。校庭もあの頃は、サッカー部・野球部・軟式テニス部(硬式テニスはまだ同好会で校外のテニスコートまで行って練習していた)・ラグビー部や陸上部がちよこちよこつと練習しているという状態だった。今考えてみると、良く工夫して使ったものだと思心する。今はどうやってグラウンドを使っているのだろうか。

それが、あの寒い中、約二時間にわたる式典と講演会にもかかわらず、あまりざわつきもせず最後まで耳を傾けていた在校生に感心すると共に、今回の渡辺敬一氏による講演会のテーマ「破壊的カルトにマインドコントロールされたくないように！」という字幕を見ながら、この県陵で過ごす三年間が輝いていますように。そして、我子と同じくらいの年齢にある若者達が、新興宗教のマインドコントロールなどというものに、惑わされることなく、自分の意志をしっかりと持って、変化が一層

も女子より高いから、そんな風に感じた)の中にぼつんと置かれた自分が、何とも心細かった事が今でも鮮明に思い出されるが、今はどうでしょう。黒い林どころか、決して派手では無いが、思い思いの私服を着た女子生徒の中に黒い制服が混じっているという感じ。今では女子生徒が約半数に及んでいるという。私達の頃は女子のための部屋は更衣室だけで、記憶は定かでない

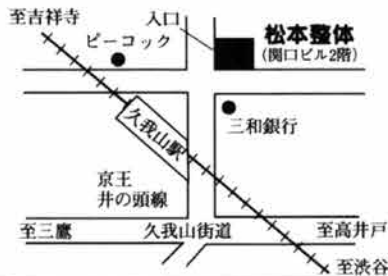
いが豊が六枚程敷いてある狭い更衣室だった。今では、女子の運動部員の部屋まである。そういえば講演会に来る前に校内をうろろろしてみたら、新入生の入部勧誘のポスター等も、あきらかに女子生徒の手によるものと思われる物が多かった。ただ一つ、白紅会の別称が「白狂会」になっているのを見つけた時、思わずニヤリとして「変わっていないなあ。」とつぶやいてしまった。体育館へ行く途中の渡り廊下の辺りには部屋がたくさんあり、もちろん私達の頃には各教室を使っていた文化部の部

厳しいと予想される新しい世紀を強く生きて欲しいと心から願わずにいられなかった。



健康ですか！  
悩んだり あきらめる前に  
**松本整体**

杉並区久我山5-8-17 (京王井の頭線久我山駅前)  
TEL.03-3332-5725 (予約制)  
院長 久保田昇子(高18回卒)



# 父・玉川公也の終焉

東京都立神経病院小児科玉川公也

父は県ヶ丘高校を最後に、教師生活を引退後、家で読書や書き物をしたり、庭で花(バラが好きでした)作りをしたり、時には旅に出かけたりして過ごしておりました。父の読書は、一つ一つメモをとりながら読むという丹念なもので、読書量も多く博識で、時にその知識の一端を子供達に話してくれましたが、子供の方は父の話には、いい加減にしか耳を傾けていなかったのは今になって悔やまれることです。

死の十三年前、突然、視力低下が起こり進行しました。本は読めなくなり、大病院の眼科へ入院し、検査や治療を受けましたが、原因不明の視神経炎ということで、両眼の視力は著しく低下した状態で退院しました。数カ月後のその年の暮に、昏睡状態に陥り、松本市内の病院へ入院、一時は絶望的な状態でしたが、二ヶ月後より徐々に意識は回復し、七ヶ月の入院生活の末、家に帰りました。その後は視力障害と運動障害のため、生活は家の中に限られるようにな

りました。以後十二年間、母と妹が中心になって介護してきました。ラジオや新聞の見出しなどで、世界の動きはなんとか知ることが出来、好きな読書が出来ないため、母に本を読んでもらっていました。九十歳を目前にした平成六年二月、風邪をきっかけに食べられなくなり、三月には水も飲めなくなりました。主治医の荻原先生に毎日往診して頂き、小児科医である義弟と私や家族が協力して連日点滴を続けました。父の頑張りや驚異的で、二ヶ月半以上を輸液のみで生き続け、あんな状態でも頑張れるというのを私達に見せてくれたようでしたが、六月三日に母に見守られて静かな最後でした。

父の死後一か月程経ってから、私は初めて県ヶ丘高校へ出掛けました。父の生前には一度も訪ねたことのない校舎でしたが、不思議な親切感がありました。目的は加藤校長先生にお目にかかり、父が現役の最後の時、その充実した力を注いだ図書館に父のお香典の一部を使って頂き度



いと考えたためでした。

松本県ヶ丘高等学校、同校同窓会・東京同窓会のみますの「ご発展を亡き父とともに祈り申し上げます。」

◆ ◆ ◆

玉川公也先生(社会へ歴史)担当は、昭和二十七年四月より、第十八回生が卒業した昭和四十一年三月までの十四年間の長きにわたり、奉職されました。

謹んで先生のご冥福をお祈り致します。

## 林悌男氏(高14)に感謝状贈呈



東京同窓会事務局長を二十余年にわたって担当され、本会の発展に寄与されました林悌男氏(高十四・東南貿易部長)に、第二九回定期総会(会場アルカディア市ヶ谷)において、大澤会長より感謝状と記念品が贈られた。

前会長(名誉会長)故根本静夫氏の陰の補佐役として、本務のかたわら繁雑な会務を処理されるなど、永年にわたる事務局運営のご労苦に、同窓生一同感謝申し上げます。また、同郷ご出身の令夫人にも、会務処理に係る幾多のご協力を頂いた。併せて感謝の意を表します。

### 株式会社日本ビルワーク

東京都文京区後楽2-7-5  
糸平飯田橋ビル  
TEL.03-5684-9977  
FAX.03-5684-9493

常務取締役 **三澤政興**  
(高校18回卒)

不動産コンサルタント  
ファイナンシャルプランナー



住友銀行 原宿支店

支店長 **藤井了助**  
(高校21回卒)

〒150渋谷区千駄ヶ谷3-53-2  
TEL.03-3401-6231

### 保険調剤薬局

クスリ・漢方薬・カネボウ化粧品

## 前田薬局

桶川市下日出谷106-10  
TEL.048-786-3442  
FAX.048-786-1236

# 我らの松井富美先生

## 弔 辞

松井クラス(松井ファミリ)  
木下喬雄(高17)

「おばあちゃん」の愛称で親しまれた松井富美先生(現代国語・古典担当)は、読書をしながらの闘病生活を送られておりましたが、平成八年三月三日永眠されました。

### ◆◆◆ 「故松井富美先生略歴」

・明治四一年四月一日台湾に生まれる(尊父台湾・台南郵便局長に赴任)。

・台南第一女学校卒業後、日本女子大学に学び、教員免許状を取得。母校台南第一女学校教員として着任。終戦後、奈良県桂木女学校に勤務。

・昭和二四年四月、松本県ヶ丘高等学校に勤務し、昭和四三年三月定年退職。

・退職後、松本市内の高等学校、看護学校等において非常勤講師として勤務。教員生活の傍、陶芸・謡・絵画等に親しみ、自宅の茶道教室で多くのお弟子さんを指導。同世代の女性には珍しく運転免許を取り、ドライブを楽しむ、国内外の旅行により見聞を広めた。

た。あの木下がと、笑って聞いてやって下さい。

私個人の思いを少し述べさせていただきます。思い起こせば、長いお付き合いでしたね。十七回卒の私達、先生には随分ご迷惑やご心配をおかけしたことと思います。そんな私達を体を張ってかばい、導いて下さいました。後にそんな先生に武勇伝を当時の他の先生からお聞きし、感激したものです。

お陰様で皆それぞれ成長し、

多少時間の空いた時期もありましたが、三十歳近くになった頃からでしょうか。思い出したように、皆で先生を囲む機会が多くなったように思います。そして、それが松井ファミリとなり先生を中心に旅行に行ったり、飲み会をしたり、花見、紅葉狩りと季節ごとに仲間との友情も深めさせて頂きました。それも先生がいて下さったからと、心から感謝しております。

昨年の十月に先生、小沢さん、大蔵、渡辺、私と乗鞍に紅葉を見に出掛けたのが先生との外出の最後でしたね。あの日は本当に快晴で美しく、先生の車椅子を押しながら皆でしたパターゴルフ。久々に学生時代に戻

先生、もうすぐ桜の季節です。本来なら四月一日の誕生日で八歳になられ、米寿のお祝はずでした。それを目前にして、お別れを述べねばならないことは、本当に残念でなりません。つい一週間前の火曜日、仲間とお伺いし思い出に花を咲かせたばかりでした。それからたった三日後の金曜日には、もう我々が分からない状態で、翌土曜日三月三日の朝、訃報を聞かされました。もう五十歳に手の届く年齢になりながら、人命の終わりの間際を目のあたりにした私には、本当にショックで、ただ先生の布団の上からそつと体に手を添えていてあげるごしか出来ませんでした。

火曜日にお会いした時、先生が口にされた「木下君の演説が聞いてみたい」というその一言で、人前など一度も話したことのない私に、この弔辞という大役がまわってきてしまいました。

った気分ではしゃいだものです。三十周年のビデオを見ながら、話に花を咲かせたことも鮮やかに心に残っています。我々がもう忘れてしまっているようなことまで覚えていて、話して下さったり、また、昔のように叱ってくれることも忘れない先生でした。そして、年をとってもやっぱり我らの先生でした。今年も元氣になって、また皆で花見に行きたかったですね。本当に行きたかったですね。

昨日も他のクラスの人に先生との今までのお付き合いの過程を話した折、「俺達にはそんなことはないな・・・」と言われました。松井先生のクラスで学ぶことが出来たこと、良い仲間と巡り会えたこと、本当に幸せだったとつくづく感じております。

こうして話しかけていますと、先生には面と向かって伝えられなかった思いが、まだ一杯あるように思います。でも、その引き出しは、少しずつ小出しにしておきます。長い病院生活、さぞお疲れだったことでしょう。先生、ゆっくり休んで下さい。また、暫くしたら皆で残しておいた引き出しの中身や新

しい話をたくさん持って、話しに参ります。その時はあちらこちらで、また楽しく笑って会いたいものです。今まで、本当に有難うございました。

平成八年三月二六日

例年より一カ月早い総会に向けて、二月中旬に編集作業を開始。退勤後の夕刻から三、四時間の打ち合わせ会、重ねること数回。

▼公私ともにご多忙の中ご寄稿くださった方々、特に担任をしてくださった諸先生、玉川公子氏、故松井富美先生のご親族に感謝の意を表します。▼また、母校の諸先生、同窓会本部スタッフ、諸先輩から資料、写真の提供など多大なご協力を得て、編集作業を終了できましたことに感謝致します。▼本紙が、同窓会の発展、拡大と充実の一翼とならんことを願う。(荻)

## 記 後 集 編

### 松本県ヶ丘高等学校東京同窓会会則

- 第1条 本会は松本県ヶ丘高等学校東京同窓会と称する。
- 第2条 本会は会員の懇親、相互扶助等の途を講じ、延いては母校の発展に寄与することを目的とする。
- 第3条 本会は前条の目的を達成するために下記事業を行う。
  1. 毎年1回(春)総会の開催
  2. 会員名簿の発行
  3. その他前条の目的達成に必要と認められる事業
- 第4条 本会は旧制松本第二中学校及び松本県ヶ丘高等学校に在学又は在籍した者で、東京都及びその近県に在住し入会したものを以て組織する。
- 第5条 本会の事務所は東京都内に置く。
- 第6条 本会に下記役員を置く。
  1. 会長 1名
  2. 副会長 若干名
  3. 幹事長 1名
  4. 副幹事長 若干名
  5. 会計幹事 2名
  6. 会計監査 2名
  7. 常任幹事 40名以内
  8. 幹事 各卒業回期1名以上
- 第7条 役員の出選は下記方法により選出し、任期は2ヶ年とする。
  1. 会長、副会長は常任幹事会で選出し総会の承認を要する。
  2. 幹事長、副幹事長、会計幹事、会計監査は常任幹事会に於て互選する。

- 第8条 会議は、総会、幹事会、常任幹事会の3種とする。
- 第9条 総会は会長が召集し、下記事項を審議決定する。
  1. 会務並びに事業報告
  2. 決算の承認並びに予算の議決
  3. 会則の変更
  4. 会長、副会長の承認
  5. その他、常任幹事会で必要と認められた事項
- 第10条 常任幹事会は幹事長が召集し、常時会務の運営執行に当たる。
- 第11条 幹事会は幹事長が召集し下記事項を行う。
  1. 常任幹事の選出
  2. 会員相互の連絡、会費の徴収、会務の企画運営等の審議
- 第12条 本会の経費は会費及び寄附等を以てこれにあてる。
  1. 会費 年額3000円
  2. 寄附金等
  3. 会費の納入は、毎年4月本会の定める銀行へ振込むものとする。
- 第13条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終る。
- 第14条 本会に名誉会長、顧問及び相談役をおくことができ、幹事長は名誉会長、顧問、相談役に幹事会並びに常任幹事会への出席を求めることができる。
 

(附則)

  1. 本会則の発行は昭和43年11月25日とする。
  2. 昭和44年5月10日一部改正
  3. 昭和56年6月4日一部改正

### 平成7年度会計報告

自 平成7年4月1日  
至 平成8年3月31日

| 収入の部       |            | 支出の部       |            |
|------------|------------|------------|------------|
| 摘 要        | 金 額        | 摘 要        | 金 額        |
| 前年度繰越金     | ¥149,085   | 第28回総会関連費用 |            |
| 第28回総会関連   |            | 会場費        | ¥1,442,824 |
| 会費         | ¥2,236,000 | 会報発行費      | ¥236,086   |
| 寄付金、祝儀     | ¥250,000   | 案内状費用      | ¥246,040   |
| 会報広告料      | ¥330,000   | テレカ制作費     | ¥190,000   |
| テレカ等収益金    | ¥144,000   | 会議費        | ¥330,511   |
| 雑収入        | ¥47,500    | 通信費        | ¥46,965    |
| 本部同窓会より助成金 | ¥100,000   | 諸雑費        | ¥187,702   |
| 幹事会会費      | ¥159,000   | 幹事会等会議費    | ¥278,733   |
| 銀行利息       | ¥150       | 渉外費        | ¥73,000    |
| 寄付         | ¥7,000     | 通信費及び交通費   | ¥23,300    |
| 合 計        | ¥3,422,735 | 諸雑費        | ¥3,678     |
|            |            | 次年度繰越金     | ¥363,896   |
|            |            | 合 計        | ¥3,422,735 |

### 特別合計

本会運営基金として指定金銭信託¥1,211,018.- (大和銀行東京営業部)  
上記の通りご報告致します。

平成8年4月30日 会計幹事 浜 一昌  
" 林 悌男

### 平成7年度会計監査報告

会計幹事より提出された会計帳簿、領収書、伝票類をもとに慎重に監査した結果、上記会計報告は適正であると認めます。

平成8年4月30日 会計監査 花岡 俊  
" 田尻 章

# 松本県ヶ丘高等学校校歌

高野辰之 作詞  
信時 潔 作曲

1. か ぜ が じゅう じ に ら あ ら ぶ れ くる う し  
2. に し に そ び ゆ に ら き た ア ル プ ス に あ

な の の た だ な か ま つ も と の い ら い こ  
さ ひ の か が な き ゆ う ひ の に お い ふ

の ち に み を お き て む ね さ り し い だ す わ か  
り さ け あ お ぎ て ひ か さ り に い だ す わ か

き わ れ ら は か ら だ も つ よ し わ か  
き わ れ ら は こ ら だ も つ よ し わ か

き わ れ ら は こ が ろ も つ よ し

## 校歌

「若き我等」

高野辰之作詞  
信時 潔作曲

一 風が十字に荒ぶれ狂う

信濃の真中(ただなか) 松本平  
此の地に身を置き胸差し出だす

若き我等は体も強し  
若し我等は心も強し

二 西に聳ゆる北アルプスに

朝日の輝き夕日のおい  
ふりさけ仰ぎて光に生くる

若き我等は望みも高し  
若き我等は理想(ねがい)も高し

三 かの犀川の流れの如く

夜昼分たず淀まず止まず  
正しき方(かた)へと歩みを運ぶ

若き我等は誓いも堅し  
若き我等は覚悟(さと)りも堅し

四 おのが力に伸び得る時ぞ

いざいざ我友学びに励み  
行手に明るき天地(あめつち)眺め

若き我等は務をおえん  
若し我等は事なしおえん



## 朝に仰ぐ

一 朝に仰ぐアルペンの

白き冠の姿哉  
夕は望む筑摩野に

光りさやけき月の影  
秀鹿の地に鍛え来し

勝利も固き我が選手

二 県ヶ丘の丘の上

響くキックや夕雲の  
紅深き西の空

我等が立てし功績の  
高き姿のそれに似て

魏々とそびえる槍の峰

三 血汐は踊れ今は又

我等が待ちし暗戦  
寄せなば寄せよ幾万の

敵はあれども我に又  
鍛えし剣弓矢あり

挙げて帰らん勝鬨を

昭和43年5月 県歌制定  
信濃の国

浅井 冽 作詞  
北村季晴 作曲

一 信濃の国は十州に

境連ぬる国にして  
聳ゆる山はいや高く

流るる川はいや遠し  
松本伊那佐久善光寺

四つの平は肥沃の地  
海こそなければ物さわに

万ず足らわぬ事ぞなき

二 四方にも聳ゆる山々は

御嶽 乗鞍 駒ヶ岳  
浅間は殊に活火山

いずれも国の鎮めなり  
流れ淀まずゆく水は

北に犀川 千曲川  
南に木曾川 天竜川

これまた国の固めなり

